



天狗岳 2646m (2021・3・26～27) ②

Report by 堀

2021年3月27日(土)快晴のち曇

今日は黒百合ヒュッテから軽装で東天狗・西天狗に登って黒百合ヒュッテに戻って昼食。そして昨日のコースを下山する予定だ。黒百合ヒュッテで昼食だからゆっくり出発でOK。帰りのバスは渋の湯 14:55 発だからゆっくり下山して丁度よい。



6:00 から朝食。山ではかなりゆっくりの朝食だ。

前日は夕食前から日本酒 2 パック、焼酎など飲み干したにもかかわらず、皆さん食欲旺盛だ。



食事が済んだら出発準備！

前回(4年前)は小屋が混んでいて時間も早かったので慌しく、アイゼンやらストックやら間違えられそうだったが、今回は余裕だ。

池戸さんは4年前には made in USA の高級懐中電灯を盗まれたと今も悔しがっていた。

気温はマイナス 7℃くらい。しかし風が無いのであまり寒さは感じない。



テントの人たちも結構いる。雪の中では寒そうだ。



ストレッチを軽く済ませ

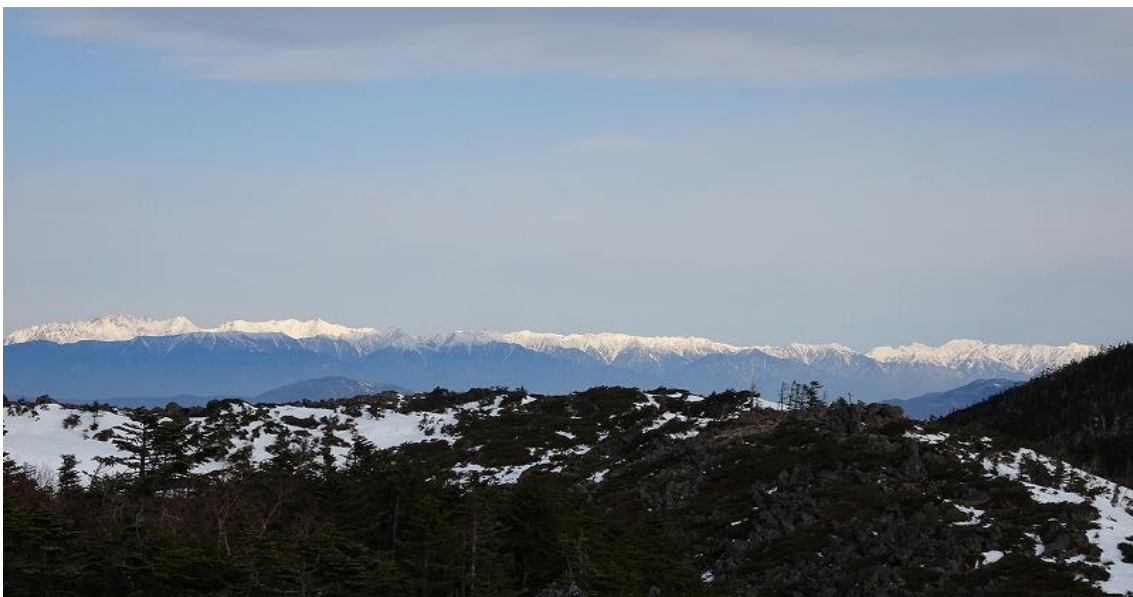


サブザックの軽装で
予定より 30 分早く
7:00 まずは中山峠に向
って出発！



出発してすぐに中山峠
を通過。ここからは東
天狗岳への稜線を登る
ことになる。

稜線に出ると左から奥穂高～北穂～大キレットと続く北アルプスの山なみが一望できる。





御嶽山(左) 乗鞍岳(右)
素晴らしいお天気だ。



東天狗の岩峰、北八つ
らしい緩やかな西天
狗。
(来てよかった)と思
わずにはられない。



出発して 40 分。勾配が
急になる。



浅間山・黒斑山が見える。2月の黒斑山も、その後の安達太良山もよい天気でした。今回も絶好の登山日和。今年はついているようです。



出発して一時間。いよいよ東天狗への本格的な登りとなる。





8 時 25 分、東天狗岳
(2640m) 山頂。



蓼科山の先には鹿島槍
など後（うしろ）立山
の山なみも遠望でき
る。
（やはり登ってこそその
展望だなァ。）



南八つには主峰の赤岳
が形よく聳えている。



西天狗岳（2646m）は
ここより少しだけ高
い。
暫くは写真を撮ったり
して、西天狗岳に向か
う。



東天狗からの下りは、あまり積雪が無く岩がむき出しで歩きにくい。

途中、アイゼンを外すが、西天狗の登りにかかるところで再びアイゼン装着。

東天狗を振り返ると本当に雪が無い。

予定より 45 分早く 9:05 西天狗岳山頂。



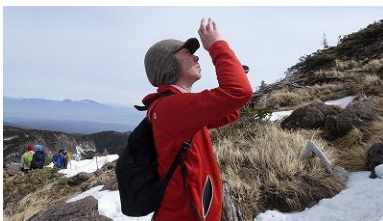
左から奥穂、涸沢岳、北穂、大キレット～槍ヶ岳と続く北アルプスの稜線がくっきりと見える。



西天狗岳から東天狗方向に少し戻って天狗の奥庭を通過して黒百合ヒュッテに向かうコースをとる。



天狗の奥庭へ。



太陽に暈（ハロ現象）
中島さんが何枚も撮っている。
お天気は下り坂だ。



天狗の奥庭から黒百合平へ



下には「すりばち池」背景には東天狗・西天狗が見える。



11:00 黒百合ヒュッテに帰着。昼食を注文してビールで乾杯！



温度計はなんと+14℃

日が当たっているから正しい気温ではないと思うが、それにしても暖かい。



12:00 下山開始。渋の湯までの下りコースタイムは1時間25分だから休憩を入れても14:00には着いてしまう。14:55 のバスには余裕十分である。

黒百合ヒュッテから大分歩いたと思うが、なんかおかしい。どうも登りに通った道とは違うんじゃないか。

地図を見ながら2度ほど確認。やっぱり間違ったようだ。



登りの時に在ったこの標識を見落として、唐沢鉱泉の方に降りてきてしまったのだ。

こんな立派な標識を見落とすとは・・・(大トラブルその二)

リーダーは誰だ！

(企画者ダメ、リーダーダメ、
今後は一兵卒として・・・(涙))



唐沢鉱泉経由で山越えて渋の湯に出ることにする。コースタイムで50分のコースである。このルートでバスに間に合うか？

13:20 こんな標識が現れ、唐沢鉱泉は間近だ。



とうとう唐沢鉱泉に到着。立派な宿はあるが、ここにはバスは入っていない。



唐沢鉱泉の駐車場脇から尾根越えのコースに入る。



尾根を越えて渋の湯に出るルートを進む。

20分で八方台へのパノラマコースを横切るはずだが・・・

いつまでもそのような地点が現れず少々不安になった頃、ようやくそれらしいところに出た。ここからは下りになり、熊本さんは先頭で快調に飛ばして行く。



14:35 渋御殿湯のあたりの車道に出られた。ここでアイゼンを外し、バス発車 10 分前になんとか「渋の湯」バス停着。

既にバスは来ていた。

出発がもう少し遅かったら間に合わなかったかも知れない。バスは 14:55 発で、これが最終。早く出たことが幸いした。

茅野駅からタクシーで望岳の湯へ。駅前のタクシー乗り場にいたタクシーは 4 人しか乗れない。親切な運転手さんで、待機しているタクシーから 5 人乗れるタクシーを呼んでくれた。なんとアルピコタクシーで、往きに乗ったのと同じ運転手さんだった。



「望岳の湯」で一時間ほど入浴。休憩室はあるが、ビールは無い。

17:20 迎いのタクシーで茅野駅へ。

茅野駅発 17:52 あずさ50号、コロナ以降は座席を向い合せにするのはダメということで、静かに帰宅の途に就いた。

一風呂浴びて、衣装替えして、Vサインの熊本さん。(若いねえ。)



4年ぶりの天狗岳でした。大トラブルが2つもあり、状況によっては最悪となることを参加の皆様のおかげと天候に恵まれたことで最後は何とか無事に下山できました。

<おまけのトラブル>

茅野駅で熊本さん「堀さん、カメラは持ってる？」

え〜、ヤバ、持ってない。(熊本さんが持っていてくれました。)

(「一兵卒」だって！ふざけんな！世の中そんな甘いもんやおまへんのやでェ！・・・天の声)

以上